

涌谷町

文政十三庚寅二月初五日



竹駒神社絵馬

涌谷町<sup>かみごおり</sup>上郡にある竹駒神社には、数百枚を数える絵馬が奉納されています。絵馬の由来は、古代の人々が神に祈願するときは神馬<sup>しんめ</sup>とされる生きた馬を神社に奉納していましたが、生きた馬を奉納できない人々が、代わりに馬の絵を描いた木板を奉納するようになったため、と云われています。

同神社の絵馬には、100匹の犬が描かれたものや馬の絵や字があるもの、かぶ<sup>かいこ</sup>の絵に「蚕安全のため」と書かれたもの、歌舞伎や武者、学問を題材にしたものなど、多種多様な絵馬があります。絵馬は江戸時代以降のもので、奉納者は現涌谷町域の人だけでなく、現美里町・大崎市・栗原市域の人もいました。

豊富な絵柄の絵馬は、人々の祈願や感謝が人それぞれであることや竹駒神社が古くから信仰されてきたこと、そして宮城県北部地域における信仰の広がりを伝えてくれます。

